

注目情報

「ミネラルウォーター」「RO水」のPFOS・PFOA分析

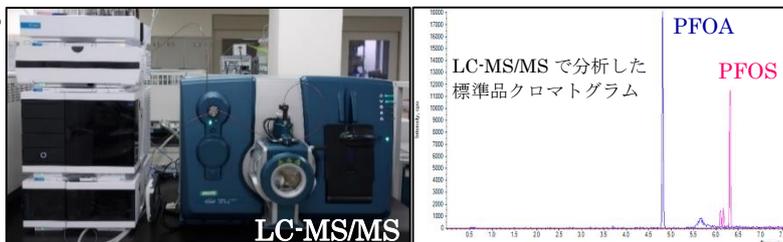
～ 多検体処理・短納期での結果報告に対応！ ～

当社では、ミネラルウォーターやRO水のPFOS・PFOAについて多検体を短納期で処理できる体制を整え、納期については通常5営業日に対応致します（試料が当社に到着した翌日から5営業日で報告書を発送^{※1}）。

検査方法：LC-MS/MS法

定量下限値

PFOS及びPFOA：各1 ng/L
2項目合算：2 ng/L



※1 営業日とは、土日、祝祭日及び、当社が特別に定めた休日を除いた日になります。
ご依頼状況などによって、通常納期よりもお時間を頂く場合があります。



ミネラルウォーターにPFASの基準はあるの？

PFOS及びPFOAは、水道法で定める水質管理目標設定項目としての目標値（暫定）が2020年3月に50 ng/L（PFOS及びPFOAの合算値）に設定されましたが、ミネラルウォーターについては2024年10月時点においてPFOS及びPFOAの基準値は設定されていません。



ミネラルウォーターからPFASが検出することはあるの？

厚生労働省ではミネラルウォーター類の規格基準の設定等の必要性を検討するために国内に流通するミネラルウォーター類に含まれるPFOS及びPFOAの含有実態調査を実施しました。調査結果では、ミネラルウォーター類からPFOS及びPFOAの検出が確認され、2022年度に実施した1試料において水道法で定める目標値（暫定）を超過し、PFOS及びPFOAの合算値で56 ng/Lでした。それ以外の試料のPFOS及びPFOAの検出状況は表の通りです。

調査時期	試料数	調査物質 ^{※2}	検出数	未検出数 ^{※3}	検出割合	最大値(ng/L)
2021年度	160	PFOS	0	160	0%	2.5未満
		PFOA	9	151	5.6%	23
2022年度	97	PFOS	2	95	2.1%	5.7
		PFOA	8	89	8.2%	5.0

※2 PFOSやPFOAには直鎖体と分岐異性体がありますが、直鎖体のみを定量

※3 未検出とは定量下限値(2.5 ng/L)未満の試料

詳しくは、当社 分析担当者（フリーダイヤル0120-01-2590）までお気軽にお問い合わせ下さい。

